

本校をより魅力的な学校にしていけるよう、12月初旬に本校の保護者対象に「学校生活満足度アンケート」を実施しました。

各項目について、右の1～5の5段階で評価していただきました。

全学年の回答を集計し、全回答数に対する割合を以下の表にまとめました。

また、「とてもそう思う」と「そう思う」を合計したものと「どちらとも言えない」と「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合計したものの、表の右にまとめています。

1	2	3	4	5
とても そう 思う	そう 思う	ど ち ら と も 言 え な い	あ ま り そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い

232名回答/300家庭

宗教的感性を持つ子ども

	1	2	3	4	5	1+2	3+4+5
1 本校のキリスト教教育は、子どもたちの内面を育てることにつながっている。	50.0	40.5	8.2	0.9	0.4	90.5	9.5
2 学校は、子どもたちが自分らしさに気づき、それを伸ばしていくことに喜びを感じさせている。	35.3	48.7	13.8	1.7	0.4	84.1	15.9
3 学校は、目には見えないけれど大切なものにも価値を認め、大切にできるよう導いている。	44.4	46.6	7.8	0.9	0.4	90.9	9.1
4 全学年でおこなっている「生と死の教育」は、命について考えるよい機会になっている。	55.6	38.8	4.7	0.4	0.4	94.4	5.6

聡明な子ども

5 授業には、子どもたちに分かりやすい工夫がなされている。	38.8	48.3	9.9	1.3	1.7	87.1	12.9
6 学校は、子どもたちが主体的に学ぶという意識を育てている。	29.0	52.4	16.0	1.7	0.9	81.4	18.6
7 学校は、子どもたちが学び合いの中で、自分の力を発揮して関わることができるようにしている。	36.2	47.4	13.8	2.2	0.4	83.6	16.4
8 多様な学習形態(個別・発展・選択学習など)は、子どもたちの学力を伸ばしている。	42.2	43.1	11.2	2.6	0.9	85.3	14.7
9 本校の英語教育(国際コース・Leptonを含む)は、英語力の育成に効果的である。	44.4	35.3	15.9	2.2	2.2	79.7	20.3
10 本校のICT教育(タブレットパソコン等の活用)は、適切な方向に進んでいる。	17.7	43.5	34.1	3.0	1.7	61.2	38.8
11 学校は、子どもたちが生き生きと楽しく生活できるよい雰囲気になっている。	50.0	37.9	10.3	0.9	0.9	87.9	12.1

思いやりのある子ども

12 学校のいじめ防止基本方針や教育相談などは、効果的な取り組みにつながっている。	28.1	46.8	20.3	2.6	2.2	74.9	25.1
13 学校は、子どもたちが学級や学校で好ましい友達関係を持てるようにしている。	31.0	50.9	16.4	0.9	0.9	81.9	18.1
14 学校は、子どもたちが周りの人のために役立つことが自然にできるようにしている。	34.5	50.0	12.9	1.7	0.9	84.5	15.5
15 学校は、生徒指導で、子どもたちの気持ちや考えを尊重しながら必要な対応をしている。	32.8	53.9	9.5	1.7	2.2	86.6	13.4

心身ともにたくましい子ども

16 体育の授業は、子どもたちにとって必要な体力作りにつながっている。	31.0	50.9	14.2	3.0	0.9	81.9	18.1
17 運動会や業間体育・放課後遊び、水泳・陸上練習などは、子どもたちの体力作りに役立っている。	37.5	48.7	11.6	1.3	0.9	86.2	13.8
18 学校は、子どもたちが苦しいことやいやなことにも、がまんや挑戦ができるように関わっている。	28.4	45.3	24.1	1.7	0.4	73.7	26.3
19 学校は、子どもたちが自分の責任を果たせるように適切な指導を行っている。	36.2	50.0	12.1	0.9	0.9	86.2	13.8
20 学校は、周りに流されないで正しいと思うことが実行できる子どもたちを育てている。	28.4	43.1	26.3	1.7	0.4	71.6	28.4
21 保護者は、子どもたちが学校でルールを守りけじめのある行動ができるように協力している。	22.5	53.7	18.6	3.5	1.7	76.2	23.8

その他

22 学校は、教育方針や教育内容を分かりやすく伝えている。	39.8	45.9	10.8	1.7	1.7	85.7	14.3
23 学年便り、NDタイムズ、文書、ホームページ、メール送信などは、適切な情報提供につながっている。	47.4	45.7	5.2	0.9	0.9	93.1	6.9
24 玄関の写真掲示等は、子どもたちの様子を知るのに役立っている。	42.2	44.8	9.9	2.2	0.9	87.1	12.9
25 学校の改革(土曜日運動会、夏休みの行事、登校日など)は、望ましい方向に進んでいる。	34.9	42.7	16.4	2.2	3.9	77.6	22.4
26 保護者が参加する行事(参観日、個人懇談、ファミリーコースなど)では、有益な内容が行われている。	34.1	53.4	9.1	2.2	1.3	87.5	12.5
27 保護者や子どもたちは、先生とよくコミュニケーションがとれている。	39.0	46.8	11.3	1.7	1.3	85.7	14.3
28 保護者は、わが子だけでなく周りの子も大切にしようという意識を持っている。	26.8	46.8	22.5	1.7	2.2	73.6	26.4
29 保護者は、学校と連携して教育活動に関わっている。	28.1	51.5	16.9	2.2	1.3	79.7	20.3
30 保護者会活動は、望ましい方向に進んでいる。	32.0	46.8	16.9	2.2	2.2	78.8	21.2

アンケートからの考察

1.全体から

各項目に対する「どちらとも言えない」という評価については、4や5にしないまでも、1や2の評価をすることはできないと思われたと考え、今回も、1・2の評価の合計と3・4・5の評価を合計して考察しました。

1・2の評価（「とてもそう思う」と「そう思う」）の合計が、8割を切っているものは、10項目ありました。

その中で、保護者関係の項目も、4つ（21・28・29・30）ありました。今後、保護者会とも相談しながら、改善の方向を探っていきたいと思います。

2.課題と改善の方向

苦しいことにもチャレンジすること、周りに流されないこと、生徒指導の取り組みなど（12・18・20）、引き続き努力すべきことが残っていることが分かりました。

9の英語教育については、Leptonなど新しい取り組みを始めましたが、国際コースとの差についての意見がありました。公立小学校でも、これから外国語の授業が始まってくるので、本校としても、全体的な英語力のレベルアップには、さらに取り組んでいきたいと考えています。

10のICT教育については、4年生以上の学級を中心に、タブレットを使った授業に取り組んできたので、低学年の保護者から「どちらとも言えない」という評価があったようです。5月にもお知らせしたように、今年度の取り組みをもとに、今後台数も対象学年も指導も拡充していく方向です。

「そう思わない」という評価の割合が最も大きかったのは、「学校の改革（土曜日運動会、夏休みの行事、登校日など）は、望ましい方向に進んでいる」という項目でした。

例示した3つの改革のどれが望ましくなかったのかはアンケートでは分かりませんが、運動会が土曜日になって、家族が参加しにくくなったという意見は自由記述に複数ありました。子どもたちのモチベーションと疲労面を考慮した日程ですので、ご理解いただければありがたいです。

夏休みの行事など新しく始めたことには、自由参加のものが多いのですが、改革は全員を対象としてほしいという意見がありました。多様なニーズが出されている中で、新たなことをスピード感を持って始めるとなると、どうしても希望者対象の受益者負担で進めることになります。

質の高いサービスを提供するためには、それなりの経費がかかるということをご了承いただいた上で実行していくということになります。

3.自由記述の意見などを受け、改善を進めていくこと

○個別学習は、何を目的にしているのか、だれを対象としているのかを年度当初によく説明しておく。

○多目的ホールは利用しやすいが、体育では、運動場や体育館を積極的に活用し、より広い場所で体力作りを実施していく。

○運動会やクリスマス学習発表会では、行事を通してどんな子どもたちを育てようとしているのか、何を見ていただくとしているのか再確認して取り組む。

○広報活動は、幼稚園や保育園対象だけでなく、塾などにも広く学校のよさを知ってもらう機会にする。

○障害者との交流など福祉教育の機会や防犯教室などを6年間の計画の中に増やしていく。

○体力作りをする放課後活動を増やしていくのは難しいので、ジャガーズの活動の中で応えていく。

4.長期的な展望で検討する必要があるもの

○修学旅行の行先と泊数を検討してほしいとの意見がありました。1期生から続いてきた伝統の行事ではありますが、50年を経過して、現在の本校にとって本当に望ましい内容になっているのか、この50周年は検討するよい機会と考えました。

交通機関や宿を確保するには、1年前から予約しておく必要があり、安全面とカトリック校らしさを考慮し、内容を一新するとなると決定にはかなり時間がかかることが予想されるので、他校の例も研究しながら、早速検討を始めることにしました。